

「見える化」がつくる日本の未来

川口市立上青木中学校 3年 大関 もえの

『税金は必要ですか』と問われたら、NOと答える人は少ないと思います。それは私達国民は、生活を守る上で税金が欠かせないという事を理解しているからです。しかし、その一方で納税することに対し、前向きなイメージを持っている人は少ない様に思います。テレビのニュースを見ている、増税に反対する声や、税金の無駄使いへの不満、公費の補償が行き届いていない事の指摘など、納税に対してマイナスの印象を持ってしまう事の方が多く取り上げられていて、逆に、税のおかげでこんな風に助かったという様なニュースがクローズアップされる事はあまりないというのも、その原因の一つだと思います。そこで私は、もっと国民誰もが税について正しく知り、また、納税をより誇らしく思えるようにするにはどうしたらよいかを考えてみました。

まず必要なのは、税の仕組みや重要性を幼い頃から理解する事、当たり前の事だと思えるようにする事だと思います。みんなが豊かで安心した暮らしをするためには、税金は欠かせないものです。でも、実際に自分の生活のどの部分が税金で支えられているのか、大人でもきちんと説明できる人は少ないのではないのでしょうか。小さい時にお店屋さんごっこで、物を買うためにはお金が必要だと学ぶような感覚で、安全な暮らしのためには税金が必要だと学べる機会がもしあったとしたら、税に対する意識も知識も、今とは変わってくると思います。

そこで私が考えたのは、GIGAスクール構想との連動です。今、私達児童生徒には一人一台の学習用端末が用意されています。これを上手く活用できれば、誰もが税金についてもっと詳しく知る機会を持つことができます。しかし、それには子どもでも理解できる方法で、よりわかりやすく税を学べるシステムが必要です。例えば自分達がどのような税金で守られているのか、また、将来納税した場合に、誰をどのように支えていけるのか、疑似体験しながら学べるアプリが学習用端末に入っていたら、学んだ先に明るい未来や安全な生活を思い描きやすくなるはずです。

また、これを応用し、よりリアルタイムにデータを反映させるシステム、つまり「見える化」する事ができれば、個々の税金が何に活用されたのかを誰もが知る事ができる様になり、国民の納税に対する意識の向上にも繋がっていくのではないかと思います。

納税は国民にとって義務であると同時に、自分たち自身の手で安全な暮らしを守っていくための権利です。これを、これからの社会を担っていく私達学生がしっかりと理解しておく事、そして今、納税している全ての人々が認識する事が必要だと私は考えます。税の「見える化」は、そんな支え合う明るい日本の未来への道しるべになってくれるのではないかと思います。